

10月18日(土)に開催

元気あかし産業交流フェア

産業振興財団では、設立10周年記念して「元気あかし産業交流フェア」を、10月18日(土)に明石市立産業交流センターの全館で各種の催しを実施いたします。

この産業交流フェアは、市内企業の交流の場をつくとともに、各企業を持つ高度な技術や製品を広く市民に紹介し、ものづくりのすばらしさや、重要性を発信する場にしようとするものです。また、将来のエンジニアを夢見る子どもたちに、科学やものづくりに興味を持たせる楽しい催しも計画しています。

● 出展企業を募集しています!

「日本一をめざす元気あかし企業」をテーマに、トップシェア、オンリーワン、ユニークな製品や技術を企業展示ブースで紹介します。多くの企業の出展を募集しています。展示ブースは、幅、約



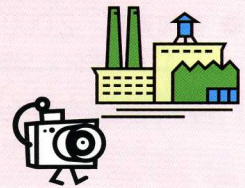
企業展示のイメージ写真

2メートルが単位で複数の幅も可能です。また出展料は必要ありません。

<連絡は、財団事務局
 ☎936-7915まで>

● 写真コンテストの作品募集

「明石の企業の風景」をテーマに、市内企業の風景や、働く姿などの写真を募集しています。



作品は四つ切、募集期間は9月30日まで、賞は、最優秀賞(1点)、優秀賞(3点)、奨励賞(約10点)で、それぞれ3万円、2万円、1万円の相当の副賞としています。

これらの作品は、10周年記念行事で展示し、表彰を行います。

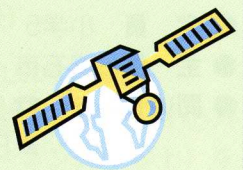
● 特設ステージへの出演者募集



当日は、展示場の中に特設ステージを設置し、個人やグループの出演による音楽、実演、また自社PRなど、楽しいアトラクションを予定しています。個人やグループでの出演者を募集しています。

◆ その他の催し

記念講演会	地元中小企業の力を結集して人工衛星の打上げ 東大阪宇宙開発共同組合理事長 竹内 修 氏
科学実験ショー	子どもたちの夢を育む科学の世界 兵庫教育大学・原体験教育研究会 高田昌慶 氏
物産特売	市内の物産販売、玉子焼きなど飲食コーナー、実演コーナー
特設舞台	タコフィル演奏、個人・団体出演、ミニロボット対戦など



平成19年度の利用実績

36事業に延べ約7,000人が参加、約37万人が施設利用

産業振興財団では、産業交流センターを拠点に産業交流、人材育成、情報提供、経営相談などの企業支援を行っています。

平成19年度は計36事業を実施しました。また、施設利用者の実績は表のとおりです。

施設名	事業数	事業参加者(人)	施設利用者(人)
産業交流センター	29	2,459	197,310
勤労福祉会館	4	770	119,944
サンライフ明石	3	4,170	55,147
南二見会館		0	5,595
計	36	7,399	377,996

産業技術交流セミナー

明石産業交流ミーティング (産業技術交流会)

カラープラズマテレビの生みの親で、かつて富士通(株)明石工場で研究された篠田傳氏(篠田プラズマ(株)会長)に、技術を愛し、ロマンと夢の実現に邁進し、起業化も実現した挑戦の日々を語っていただきます。講演終了後、参加企業による情報交換の懇談会も開催します。ぜひご参加ください。

- 日時 平成20年8月6日(水) 午後2時30分～5時30分
- 場所 明石市立産業交流センター 4階 研修室
- 講演 「技術は愛、未来にはばたく超大型ディスプレイ」
篠田プラズマ株式会社 会長 篠田 傳 氏
- 参加費用 2,000円(ただし、懇談会参加者のみ)



神戸学院大学公開セミナー

保険と市民生活 — 火災保険を知ろう —

本講演では、身近なのだけでも、難しいと思われる保険について、火災保険を例にしてお話します。みなさん、社会保険・医療保険と保険会社の引き受けている損害保険・生命保険との仕組みの違いがお分かりですか？

- 日時 平成20年7月9日(水) 午後2時～4時
- 講師 神戸学院大学 法学部教授 岡田 豊基氏
- 受講料 無料
- 場所 明石市立産業交流センター 4階研修室
- 定員 50人(先着順)
- 共催 (財)明石市産業振興財団

ほくもわたしも エンジニア

ものづくりキッズクラブ

次世代を担うこどもたちに、ものづくりの楽しさ、大切さを感じてもらうため、小学生を対象にものづくり連続講座を開講します。

- 期間 平成20年7月26日～11月22日(全7回)
- コーディネーター 明石工業高等専門学校
名誉教授 前田 良昭氏
- 定員 小学5・6年生と保護者 15組30人
- 主催 明石市・(財)明石市産業振興財団
- 問い合わせ ☎ 936-7915

※日時、参加費、申し込み方法等詳細についてはお問い合わせください。

主な内容	実施時期
開講式	7月26日
工場見学(新キャタピラー三菱(株))	7月29日
工場見学(富士通(株)明石工場)	8月5日
飛行機づくり(明石工業高等専門学校)	8月30日
ロボットづくり(明石工業高等専門学校)	9月20日
ものづくり工作教室(ものづくりネットワーク明石)	10月18日
閉講式	11月22日

金融・経済セミナー

これだけは知っておきましょう 金融の基礎シリーズ

●各セミナーの内容

回	テーマ	時	日
1	株式投資の基礎編	午後2時 ～4時	6月12日(木)
2	債権投資の基礎編		6月26日(木)
3	投資信託の基礎編		7月10日(木)

- 場 所 明石市立産業交流センター 4階 研修室
- 講 師 【第1回】野村證券株式会社 明石支店
ファイナンシャル・アドバイザー課長 並木 寿夫 氏
【第2回・第3回】野村證券株式会社 明石支店
ファイナンシャル・アドバイザー 保田 憲司 氏
- 定 員 各50人 (先着順)
- 受講料 無料

これからの講座・セミナーなどの実施予定

セミナー名等	テーマ(内容)	実施予定
明石発！発明発見展	発明のおもしろさや、ものづくりへの関心等を高める。	8月
専門技術講習	産業技術に関する専門的、実務的な講座。	9月
神戸ファッション造形大学・同大学短期大学部セミナー	ものづくりにおけるデザイン等の講座。	

※上記のセミナーについては、広報あかし・情報定期便等で順次お知らせし募集していきます。

各種講座・セミナーの申込みは、(財)明石市産業振興財団へ

☎078-936-7915

FAX 078-936-7916

E-mail : info@aicc.or.jp

直接企業訪問による技術相談 第3弾!

明石高専・ACT135明石の支援でステップアップ!!

「明石工業高等専門学校(明石高専)」及び明石高専OBのNPO法人「技術者集団ACT135明石」では、平成20年8月～12月に明石地区製造業事業所を訪問して技術面での支援を行います。この機会に是非ご相談ください。

技術的課題について研究員からアドバイスを受けることができます

自らの技術や製品開発能力の向上につながります



資金や設備を必要とする開発や試験に取組むことができます

企業の研究員、技術者の能力が向上!人材育成につながります

申込み・問い合わせ

6月30日までに右記までお申し込みください。

明石市産業振興部商工労政課 商工係

☎918-5098 FAX 918-5126

(財)明石市産業振興財団 事業係

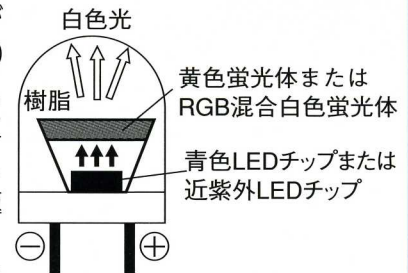
☎936-7915 FAX 936-7916

新しい科学・技術用語の解説 「白色LED」

白色LED (Light Emitting Diode : 発光ダイオード) は、電圧を加えると白色に発光する半導体デバイスのことです。白色は、虹で観察されるように、紫色から赤色に至るまでの幅広い範囲の波長からなり、狭い範囲の波長のみを発光するLED一つでは全ての色を発光することはできません。そこで、白色LEDは、青色LEDチップで黄色蛍光体を光らせたり、近紫外LEDチップでRGB (赤、緑、青) 混合白色蛍光体を光らせることにより、擬似的に白色に見えるようにしたもので、照明用に一番多く使われている蛍光灯の原理 (放電により水銀から発生した紫外線がRGB蛍光体を発光させ白色を発光する) と同じです (図)。

しかし、青色LEDおよび近紫外LEDは、高品質な単結晶材料の作製が困難であったため、長い間、高輝度なものが得られませんでした。1990年代になって、GaN (窒化ガリウム) を用いた高輝度青色LEDが開発、商品化され、白色LEDを実用化することが可能となりました。これにより光の三原色である赤、緑、青色の高輝度LEDが全て揃い、現在では、交通信号機、駅の案内表示板や競技場のスクリーンなどへの利用が急速に広がっています。

高輝度白色LEDを用いた照明は、長寿命、小型化、省電力で、発熱が少なく、蛍光灯のように水銀などの有害物質を含まないので環境に優しく、さらに光量の調整や点滅も自在という高機能性も備えていることから、懐中電灯、液晶ディスプレイのバックライト、自動車のヘッドランプ等に利用されています。明るさが100 lm/W (ルーメン/ワット) を超える製品も開発されてきており、今後、蛍光灯などの家庭用照明器具に置き換わっていくと考えられています。



白色LEDの原理図

解説者 兵庫県立工業技術センター 材料技術部 石原 嗣生 氏

会社拝見

Vol.36

Q：御社の事業内容をお聞かせください。

A：当社は油圧技術をコア技術とした量産品としてクレーン車向け減速機、ウィンチ、油圧タンク、産業用機械部品を、またプラント事業部として水処理設備なども取り扱っております。



代表取締役社長
東向 一彦氏

Q：御社の経営理念をお聞かせください。

A：「新しい未来を切り拓いていくのは、創造への好奇心と柔軟な発想が必要である。私たち東向鉄工はつねに技術革新に挑戦し、確かな技術と独創的な発想、そして創造の情熱を持ったスペシャリストでありつづけたい。そこから作り出される製品やサービスを通じて、お客様に貢献するとともに、社会の発展に広く貢献する、存在価値のある企業でありたいと願う次第である」

Q：御社のセールスポイント及び「ものづくり」に対するこだわりをお聞かせください。

A：東向鉄工株式会社は1929年に創業、80年の歴史を有する会社です。ISO9001認証取得、兵庫県に2箇所（二見工場、見津が丘工場）、総営業面積7750平米、従業員数100名の製造加工工場を所有しています。特に2006年9月に竣工した見津が丘工場では、高精度のマシニング加工を少数個数からのロット生産にてお受けしております。本工場は空調、クーラント温度管理も含めた恒温工場であり森精機製800角マシニングセンターNH8000DCGをFMS仕様の連結セルを備え、24時間年350日のノンストップ生産を行っております。また検査体制も恒温検査室、カールツァイス製3次元測定も備えております。お客様にφ100～φ1500程度の中型の鉄、鋳物、SUS、チタン等難作材のワークを5μクラスの加工精度で安定供給ができることを基本として運営しております。

また、われわれ東向鉄工株式会社は、80年で培った技術を基に、日々お客様に心からご満足していただける「よきモノづくり」を目標としております。

Q：今後の事業展開をお聞かせください。

A：お客様に心から満足していただける「よきモノづくり」ができるよう、直近では、見津が丘第2工場及び中国大連工場の設立による量産体制の確立。基幹系システムの導入による業務の効率化、納期の短縮化、不良の削減を図るためのプロジェクトを展開しております。

東向鉄工株式会社概要

代表取締役社長 東向 一彦
本社所在地 明石市二見町南二見12-7
見津が丘工場 神戸市西区見津が丘1丁目18
資本金 6,300万円
従業員 100人
ホームページURL <http://www.higashimuki.co.jp/>



見津が丘工場



見津が丘工場風景

新着図書 お知らせ



タイトル	出版社
ひょうごの成長企業117社	(財)ひょうご産業活性化センター
兵庫の個性派企業100社	日刊工業新聞特別取材班 編
できるPowerPoint 2007 Windows Vista対応	インプレスジャパン
Windows Vista & Office 2007 完全ガイド	日経BP
サービスの「正体」ホテルニューオータニのマニュアルが薄い理由	(株)すばる舎リンケージ
引き寄せの法則 Low of Attraction	講談社
効率が10倍アップする新・知的生産術—自分をグーグル化する方法	ダイヤモンド社
1を聞いて100を知れ!	プレジデント社
孫子・戦略クラウゼヴィッツ その活用と方程式	プレジデント社
No Fakes	特許庁
夢をかなえるゾウ	飛鳥新社
みーんなダメな子だった	日経ホーム出版社

ご利用ください 企業活動を支援する各種の相談

産業交流センターでは、企業活動を応援するため3階相談室で各種の相談事業を実施しています。気軽にご利用ください。なお、本年4月から特許・商標などの相談の充実を図るため、新たに専門家の弁理士が無料で相談に応じています。

経営相談

毎週 火～金曜日
10:00～15:00
明石商工会議所 協力

技術相談

毎週 火～金曜日
10:00～17:00
明石テクノネットワーク 協力

発明・特許相談

毎月 2・4土曜日
13:00～16:00
(社)発明協会兵庫県支部 協力